

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		役員と管理職が出席する会議を毎週開催、内容を議事録化し、全社員へメールで共有している。また、議事録の内容を翌週の各部の会議でも報告・連絡することで情報共有を徹底している。 さらに、経営目標を社内でも共有し、それに基づき、各部署ごとの達成目標を作成し、実践している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の基礎となる「就業規則」を定め、社内ですべて確認できるようにしている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引先に対し、不当な値引き圧力が無いか各部署内でチェックを行い、会社として公正な取引に努めるよう、全従業員に向けその重要性を発信している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		エフエム熊本番組放送審議会を月1回開催し、委員の方からいただいた様々な意見をラジオで放送、熊本日日新聞で記事にしていたっている。 公式ホームページにお問い合わせ欄を設け、聴取者からの意見を受け、対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		番組制作や事業を行う上で、特許・商標・著作権などの侵害に関する法令を遵守するよう全従業員に説明し共有している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報情報を適切に管理している。	●		公式ホームページで「個人情報保護基本方針」を公開し、番組担当者、事業担当者など管理者を限定し、厳重に管理している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		株主総会において株主への詳細な事業報告を実施している。 また、エフエム熊本番組放送審議会で聴取者の代表者と制作者が情報共有・意見交換を行いより良い番組制作・放送につなげるよう取り組んでいる。 スポンサー・代理店へは担当部署の営業部が意見交換を行い、広告内容の提案を行っている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・熊本県と毎年人権啓発番組を制作し、放送している。 ・人権啓発のCMを熊本県と地元プロスポーツチームと一緒に制作し放送している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・非常災害対策、非常災害放送に関する規定とマニュアルを作成し、全社員へ配布している。 ・定期的な防災訓練を行っている。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則内の「服務」の章で、各種ハラスメントの禁止について周知し、問題と思われる事案が発生した場合、関係する各部署の所属長及び役員が早急に対応している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		総務技術部が主となり、非常災害時の対応マニュアルの作成や健康診断を行い、施設、設備等について日頃の点検結果や使用状況の確認によっては、各部と連携して必要な措置を行うよう取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員(正社員・嘱託・アルバイト)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		各部署で時間外勤務の管理を行い、有給休暇の取得奨励を行っている。 また、「育児・介護休業等に関する規程」を定め、そのための休暇や時短制度を取り入れている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社業に役立つ資格取得などの費用を補助し、社員の自己研鑽を支援している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎月の社員の労働時間を把握し、所属長に注意を促すなどして長時間労働の抑制に取り組んでいる。 健康診断(人間ドック)等の経費補助を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、性別などの違いによる差別的待遇は無い。 定年後、再雇用制度を導入している。 女性の出産による離職を防ぐため、産休・育休の取得、復帰までのサポートを行い、復帰後も短時間勤務等で働きやすい職場環境作りを行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・テレワーク・時差出勤を実施しているほか、ウェブ会議も積極的に利用している。 ・社内のトイレに抗菌・消臭用シートを導入している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			株式会社エフエム熊本																			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物処理を適正に実施している。 法令で規制されている有害物質を把握し、適正な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1																					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エネルギー使用量のほとんどが電力であることから、毎月の電力使用量の用途別の推移を把握することで、分析と対策に取り組んでいる。							7.3						13																								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室効果ガスの排出のほとんどは電力であるため、電力計単位の電気使用料の推移を把握して増減の原因を類推、対応に取り組む一方、平均気温の上昇による社員の健康状態への影響も配慮しながら、削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15																						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境保全に関する番組コーナーを展開し、県民へ広く啓蒙を行っている。						6.6									14	15																					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		紙類の使用抑制、ペーパーレス化、裏紙の利用を行っているほか、ゴミの分別処理を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15																						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道に節水を呼び掛ける掲示を行うなど、社内での節水活動を展開している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17																				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		プリンタートナーをリサイクル品を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15																						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4							12.3		14	15		17																			
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17																			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3																								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	森林保護についての番組を放送し、啓発に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5			14																						
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	各部署用にICカード乗車券を用意し、公共交通機関利用を推奨している。									9.4		11.2		13.1 13.3																									
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2																					

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:株式会社エフエム熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		CMの表現の適正化のため、考査担当者を置いている。 番組制作は社員プロデューサーが番組制作を管理している。 放送事故対策として、編成担当・営業担当でチェックを行っている。 障害に対応するためにほとんどの放送機材・装置を現用予備構成にしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		1階入り口を自動ドアに変更している。 社内の段差を無くすようにしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	熊本県内の交通マナー向上のためのキャンペーンを毎年行い、CM、番組を通じて普及活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		災害からの復興を応援するための番組を自社制作し、県内の様々な活動を紹介している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		FMK防災WEBブックという防災意識向上と情報収集のためのホームページを作成し、公式ホームページ内に掲載。放送を通じて周知と利用を促している。 各種災害に応じたマニュアルを作成し、緊急情報として放送で発信している。 定期的に熊本地方気象台の方を招き、勉強会を開催している。 社屋内に非常食や防災用品を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16 17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsの普及のため、熊本県内の企業の取組みを紹介する番組を制作し放送している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	県内各大学等からインターンシップを受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。